

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 9月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3471502983
法人名	有限会社 ピュアハート
事業所名	グループホーム 春里
所在地	広島県福山市新市町戸手657-1 (電話) 0847-51-5665
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年9月25日

【情報提供票より】(21年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 9月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	20 人 常勤 12 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 13.5 人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	2階建て, 1階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷金	有(円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200 円		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	64 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田医院・田上歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームは工場・住宅街に囲まれ、近隣にショッピングセンターがあり散歩や買い物等に出かけ近所の方と交流を持っている。また併設の施設と利用者の方は、行き来をし交流している。施設理念として「あんしん、ゆったり、いっしょに、たのしく」を掲げ、その人らしい暮らしがどういふ事が、何を望むか等自らの立場に置き換え、どのような生活が望まれるかを考慮し職員全員で、取り組んでいる。また公民館への出展や施設での交流会、勉強会等、地域交流に積極的に取り組んでいる。利用者の重度化や終末期に向けて早い段階から家族、本人と話し合い職員全員がプランを共有し積極的に取り組み、近隣の協力医療機関と24時間体制で連携し対応している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	職員ミーティングで、職員全員で前回の外部評価について話し合いをし、問題点を共有、改善している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は、評価に積極的に取り組み、自己評価の意義や目的を全職員に周知をはかり取り組んでいる。毎年ホームをよりよくするために目標作りに取り組み、自己評価による気付きを基に、ケアの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には、医師・市職員・地域包括支援センターの職員・民生委員・町内会長・地域住民・家族・職員が参加し2ヶ月に1回開催され、ホームの日常生活や活動状況等の説明が行われている。入居者の御家族や地域住民の各セクションより質問、意見、要望等が出され活発な意見交換が行われている。また、介護に関する勉強会や、行事を行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関に意見箱を設置し、また家族の来訪時や運営推進会議の席上家族に意見や苦情等あれば、検討し対応している。毎月請求時にフロアリーダーが利用者のホームでの生活状況を手紙で報告している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会にある、うどん屋・回転寿司・に年2回外出食に出かけ地域と交流を持っている。また近隣にあるお地藏さんにお参りに出かけた、ショッピングセンターに買い物に出かけたり、施設の駐車場を利用して夏祭りをを行い地域の人々も参加し、地域との交流に努めている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、利用者がどのような生活を望むかを考慮し、「あんしん ゆったり いっしょに たのしく」という理念を掲げ支援している。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットごとに理念を作り、ホーム玄関各ユニットごとに理念を掲示し、自分たちの作った理念の基に日々の取り組みを実践している。また月間目標を作成し実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	公民館に出展し介護教室を開き認知症に対する理解をもっていただけるように地域の方々と交流している。新市サービス連絡会に参加し情報交換や勉強会を行い交流している。年1回施設の駐車場で夏祭りをを行い地域の住民も参加し交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義についてミーティングで職員全員に伝達し、更にユニットごとに話し合いをして改善に取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、医師・市職員・地域包括支援センターの職員・民生委員・町内会長・地域住民・家族・職員が参加して行事、事故・苦情の報告をし、意見交換している。ホームの日常生活や活動状況等の報告や、年2回のイベントについてもミーティングしサービス向上に活かしている。		

グループホーム春里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター会議や地域での勉強会「新市サービス連絡会」での事業所の稼働状況の情報交換、民生委員を含むワーキングチーム等の会議へ出席し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の健康状態や暮らしぶりは家族の来訪時に報告し、また健康状態に異常が見られた場合は電話にて、連絡している。毎月の請求書送付時に各フロアリーダーが手紙にてホームでの暮らしぶりや状況を報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見・要望・希望・苦情は、玄関に御意見箱を設置すると共に、口頭や書面、運営推進会議で参加者の意見を取り上げ全職員で改善策を話し合い即時対応するよう取り組んでいる。また介護保険課苦情係や地域包括支援センターと連絡を取り対応に取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット職員を固定し移動は出来るだけ少ないように配慮している。採用時には、事業所の方針の説明、本人の要望を聞き勤務計画の作成をし働きやすい職場環境作りをしている。各ユニット合同でミーティングを行い、利用者の情報を共有し利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として段階に応じた教育システムがある。新入社員には、研修ガイドブックを配布し、自己研修と先輩職員が育成を行っている。外部・内部研修(月1回全員研修)に積極的に参加できるよう支援している。またメンタルトレーナーを配置し職員の精神的な後方支援を行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員は、タウンミーティングやスタッフ交流会等に参加し、各種勉強会や研修会・連絡会を通じて同業者との交流をはかりサービスの質の向上に取り組んでいる。		同業者・他事業所と交流が盛んであり、勉強会・連絡会の取り組みを今後も継続することを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>新しく入居される利用者には、体験利用や本人・家族の方々に見学していただき納得してから徐々に馴染めるように無理強いしないようサービスにつなげている。また入居前に不安のある方や納得されない利用者には、介護保険対象外のサービスもしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と一日の生活を共にし散歩・買い物・菜園・花作り・食事の準備や後片付けを共に行い、利用者から元気をもらったり癒されたりし、相互の信頼関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は利用者一人ひとりの思いや希望等を会話の中から聞くようにしている。それが困難な人の場合は家族の話を参考にしたり職員間で話し合い本人の意向や希望の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人や家族の希望を聞きアセスメントを行い、職員全員で話し合い課題や目標を設定し個別の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は、3ヶ月に1回見直しを行うと共に本人の心身等の状態の変化が生じたときは家族や職員、必要な関係者と話し合っ、現状に即した見直しを随時行っている。</p>		

グループホーム春里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関の定期往診を受け、利用者の健康管理がされている。自主サービスとして近隣のうどん屋・回転すし・ショッピングセンターへ外食・買い物の支援をしている。同一敷地内に小規模多機能施設があり、利用者が行き来している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の医療機関と提携しており、週2回のかかりつけ医の往診と24時間いつでも医師と連絡可能な体制の確保が出来ている。訪問歯科受診の支援も行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医との連携によりホームでの看取りの実績がある。重度化した場合や終末期のケアについては、家族と相談し利用者が安楽過ごしていただけるよう、全職員が把握して取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないように職員が言葉がけ等に気をつけて支援している。またホーム内のリビングや居室も利用者の人生の重みと尊厳を深く受け止め、幼稚な飾りつけをせず、落ち着いた雰囲気となっている。		利用者の尊厳やプライバシーを損ねないよう意識向上に留意しているが、一部言葉がけにチャン付け・大きな声の不適切な対応があるときも見られたので、言葉がけの配慮に今後期待します。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるように支援している。行事や散歩への参加などは、一人ひとりの思いや体調に合わせて、自己決定出来るように支援している。		

グループホーム春里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は食事準備、野菜の下ごしらえ、盛り付け、後片付け等の一連の作業に得意な分野で積極的に参加している。利用者と職員は同じテーブルを囲んで会話を楽しみながら一緒に食事をしている。行事としておやつ作り等を一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望によっては毎日入浴は可能ですが、週2回か3回で職員数など考慮して通常は午後からの入浴になっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者本人や家族から聞いた生活歴や趣味などの情報をもとに、毎日の暮らしの中で掃除・洗濯・菜園等一人ひとりの出来ることを探し生きがいや喜びに繋がる支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩がてら近所に出かけ、花などを観賞したり、春には動物園に花見に出かけ、秋には近所で柿の実をいただきます。スーパーに買物に出かけたり、思い思いに戸外に出る外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけず、自由に出入りできるよう支援し、センサーにて対応している。利用者の方の安心感からか一人で外出される方はいない。夜間は玄関に施錠している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年3回実施しており、消防署立会いで訓練と研修と行われている。避難場所を近くの会社の駐車場を借りて行い地域にも働きかけている。		地域住民や近隣の会社関係の方にも参加していただけるように働きかけを期待します。

グループホーム春里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分補給などは個別の記録用紙にて毎回確認記録している。1日の水分摂取量は、1000ccから1500ccを目安に摂取しており、沢山の嗜好品の中から水分摂取できるよう支援している。食事については栄養士が献立やバランス等について計画し支持や助言を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は広くて明るく、利用者は思い思いの場所でゆったり過ごしている。壁面や各居室の入り口には行事の写真や利用者の作品等展示し、生活感あふれる良い雰囲気作りが出来ている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具や趣味を活かした飾りつけなど、個性的な居心地良い居室作りを工夫している。		